

# あんてな

社会福祉法人  
大阪重症心身障害児者を支える会  
NO. 3 2018年10月22日発行

【法人理念】 私たちは、「障害」という言葉を生きていく上での困難さと捉え、その困難な状況下で精一杯生きる利用者の有する権利と人格に対して、最大の敬意を払うとともに、私たちが行う支援が効果を上げるべく、自己研鑽を行い、私たちの職務が利用者の福祉に貢献することを喜びとして、目前にある使命を、諦めることなく熱意をもって果たしていくことが私たちの事業に対する姿勢です。

## 「あんてな」

天高く馬肥ゆる秋、皆さま秋をいかが満喫されておられますか。  
さて、久しぶりに「あんてな」を発刊させていただくことになりました。

「あんてな」の名称は、「利用者の方々の、様々な想いの表出を感じることができるといいたい」という思いで名付けられました。ことばで伝えることの困難な利用者の方々は、日常様々な信号を発信されています。その信号をアンテナのごとく、適切にキャッチすることができているのか、これは私たちの心に深く問いかけられている課題です。

去る9月2日(日)に「支える会実践発表会」が実施されました。テーマは「伝える」です。発表の中に、「伝える」「伝わる」ためには、利用者お一人お一人のことを「知ること」が大切であり、そのためには客観的な情報だけでなく、感情や気持ちの共有も重要な要素であること、さらに「知りたい」という切なる思いや姿勢自体が利用者の方々と通じ合える糸口になる、



との考察がありました。(内容はP、2〜3をご覧ください。)これは、支える会の基本理念にもつながることです。懸命に生きておられる利用者の方々の様子と共に、私たちの取り組みをこの「あんてな」でもお伝えできればと思っています。

他方、国連の障害者年や持続可能な開発目標(SDGs)などの世界的情勢として、ようやく徐々に日本の政策も動きが見られるようになり、世間一般にも今までの障害者福祉の実態が知られるようになってきました。(注釈・SDGsは2015年に国連加盟国150か国で採択された条項です。「世界のすべての人々が安心して暮らせる社会の実現に向け、世界を変革して行きましょう!」というもので、17項目から成り立っています。第1が貧困をなくす、第2が飢餓をゼロに、第3がすべての人に健康と福祉を、です。)

設立当初より支える会が目指してきました、障害のある方もない方も住み慣れた地域で共に暮らして行ける街づくりという考えもようやく一般化されつつあります。(まだまだと思いますが…)これからも実現へ向けて、諦めることなく、粘り強く努力して参ります。



- 「あんてな」の再発刊 P, 1
- 実践発表会を終えて P, 2〜3
- 事業所通信：
  - ゆら(きらっとグループ) P, 4
  - みどり教室・咲笑 P, 5
- 研修情報 P, 6
- イベント・催し P, 7
- 冊子紹介・コラム・編集後記 P, 8



今後ともどうぞよろしくお願い致します。

私たちが取り組みも、まだまだ、利用者の方々と親御さんの方々のご希望に沿うに至りませんが、この「あんてな」を通じても、取り組みを発信できたらと思っています。

## 実践発表を終えて

★先日4回目となる実践発表会を開催する事ができました。

今回は午前中にP A T ネット理事長の上田晴男氏に「障害者差別解消法と合理的配慮」についてご講演頂き、午後からは「伝える」というテーマで各施設の発表を行いました。

昨年に引き続き実践発表会実行委員として関わらせて頂き話し合いを重ねる中、何を伝えたいのか、どの様に組み立てていくのがよいのかと悩み自分自身の力不足や知識不足を痛感しました。

思っている事を分かりやすい言葉で組み立てて発表する事は難しく、思うように行かない事もあります。しかし、だからこそ大切な機会なのだと感じています。

『ご本人にしっかりと伝わっているのか？』

ご本人が伝えてくださっている事を受け止める事が出来ているか？』どうだろうかといつも自問する毎日です。

上田氏が話されたご本人主体の支援に少しでも近づく事が出来る様に、これからも皆で考え話し合い、発表する機会を持ちながら法人全体で同じ想いをもって支援に繋げていきたいと思えます。

実行委員長 森 美重子



★皆様のご協力のもと、今回も無事に実践発表会を終えることができました。前回の反省を活かして、今回はどのような発表会にするか、実行委員として無い知恵をしばって、色々と考えました。

まずは構成をどのようにするのか。前回は午前中に当事者様達に講演をしていただきましたが、今回は何がいいか、また、午後の各部からの発表のテーマは何がいいか等々、考えなければならぬことが多くありましたが、私の未熟な経験からは出てくる案も少なく、困惑することが多かったです。

結局、午前中は外部の講師をお呼びして講演してもらうことに決まりました。そしてテーマは「合理的配慮」について。実際、上田氏の講演を聞かせていただくと、我々支援者のあるべき姿について、また障害者の権利について等、学ぶべきことや再度確認させられたことが多かったです。これからの支援に新たな気持ちで向き合うことができそうな気持ちになりました。

今回の講演は非常に有意義なものになったと思います。また次回からは何がいいか、皆様の知識や知恵をお借りして考えていかなければいけません。そのためにも自分の経験や知識をもっと増やしていかなければならないと感じています。今の利用者様と向き合いながら、自己研磨していきたいです。

実行委員 Y. K (生活ホーム クローバー)

★この度、発表者側として聞かれる皆様になんとも理解して頂ける内容にしようと事業所のスタッフと一緒に話し合いをを重ね、発表者自身の視点だけではなく、事業所全体の視点となるように努めました。

日々の支援の中で気付けていなかった点や、工夫するべき点など振り返り、自分自身、結論ではなくこれからもずっと続いていく支援であるという事を念頭に考えてきました。

また、聞かれる皆様には居宅の支援はなかなかイメージしにくいのではないかと考え、具体的に補足説明やエピソードを加えるなど工夫をしましたが、果たして皆様にこの内容が理解して頂けたのか、説明がうまく行えたのか等を思うと、今回のテーマである「伝える」ことの難しさを実践発表会を通じて、改めて考えさせられました。

発表者 K. H (居宅介護事業所)

★今回の実践発表会のテーマは「伝える」 伝え、伝えられることは毎日のコミュニケーションの中で繰り返されています。支援者側からの発信、利用者さんからの発信。そんな毎日の1ページが切り取られた実践発表会でしたが、利用者さんとのやりとりを楽しみながら過ごされている様子が伝わってきました。

悪戦苦闘しながらも、最後には利用者さんの笑顔が目に見えようでした。

その笑顔にもっとたくさん出会えるようになる為に「合理的配慮」が必要なのではないでしょうか。かゆいところにもうちよつとで届きそう…。その「もうちよつと」が縮まれば、経験したことのない新しい出来事に出会えるのかもしれない。抽象的で難しい言葉ですが、檀上の上田氏の情熱を胸に刻み、「これはどうなんだろう？」と常に考え、実践していきたいと思えます。

#### 参加者 O. K (生活介護 みどり教室)

★先日9月2日、支える会実践発表会に参加しました。前回は発表者として参加し、考察する事の難しさ、発表までの大変さを身をもって体験した事を思い出しました。

午前に行われたPATネット理事長、上田晴男氏の講演は、「障害者差別解消法と合理的配慮」について学びました。私が接している利用者様の事を思い浮かべながら、話を聴きました。

障害があるという事だけで不当な扱いを受けている現状や、実際に私が利用者様と一緒に行動している社会から差別的扱いを感じる事があるので、本当にそのような事はなくさなければならぬと改めて強く感じました。また、利用者様が取る行動には口には出さなくとも必ず理由があるので、その事を理解、共感するためにも、「その事をもっと知りたい」という強い気持ちを持って接しなければと改めて思いました。

午後からの実践発表は、各事業所の発表者より様々な角度から「伝える」というテーマで発表があり「伝える」という事だけでも、色々なアプローチの方法があると感じました。

その中で、生活介護ゆらの発表は、現在私が関わっている利用者Aさんについての発表という事もあって、私自身改めて振り返る機会となりました。今後一層、Aさんの表情を見て、感じて、本当にAさんが伝えたい事をキャッチできるようにになりたいと思いました。

今回、実践発表会に参加し、私自身ももっとと深く利用者の皆様に関わって知っていききたいと思いました。

#### 参加者 Y. N (生活介護 ゆら)



★支える会の「実践発表会」に初めて参加させて頂きました。

テーマである「伝える」について私たちは「その人らしさを支援する」ということを目標に上げる事が多いのですが、そこに行き着くまでの道のりは決して容易なことではありません。

今回の上田氏の講演の中で、「二つ一つのなぜ？」をよく観察する。

「正しいか正しくないかで判断するのではなく、この人に必要なのか、適切なのかを考えてほしい」とありました。どれだけでできているか？と自分に問うとご利用者の顔が浮かんできました。各事業所の発表を聞き、ご利用者に向き合い理解しようとしていく姿、伝える努力をしている事例に刺激を受けました。ご利用者に的確に分かりやすく伝えることが求められる観点からも人前で発表することの必要性を感じました。

今回の研修を踏まえて、今後もご利用者の思いに寄り添える支援に取組んで行きたいと思えます。

#### 参加者 S. T (居宅介護事業所)

## 事業所通信

### ゆら〜きらっとグループの取り組み

ゆらでは、以前ご紹介させていただいた2グループとは別に「きらっと」グループがあります。毎日7名前後の方が来所して下さり、どのグループよりも広いスペースを活用し、楽しく明るい声と元気いっぱいの表現で日々活発に過ごしています。

その一つに体感運動を取り入れていますが好みは様々で、ハンモック、巨大バランスボールであったり、その中でも皆さんに共通して楽しんでいただいているのが「シートブランコ」です。

どんなものなのか？どのように行うのか？大きな布（シート）を床に広げ利用者さんには中央に仰向けで寝転んでいただきます。シートを広げると自ら中央までほふく前進で進まれる方、寝転がり移動してくださる方。我先に！とシートまで移動される方もおられるほど人気です。

シートを持ち浮かすだけで期待されて笑う方、ゆつくりの揺れでは満足しない方、様々な方がい



らっしゃいます。ですが、「もう1回！」をアピールされたら、もう1回の方が降り

ない！という方もおられるので、我がグループの職員は、シートブランコができるのが条件とばかりに力をつけてスタンバイしています。

さて次に身体を動かすことに加え、役割として作業も行っています。その中の一部の工夫をご紹介します。

メインの作業としては、現在手芸の中でも、

ヤーンタッセルやくるみボタンを使ったヘアゴム作りが中心となっています。作業工程全てを全ての利用者さんで行っていくのは難しく、一部の工程を何か道具を使って1個だけでも、ひっぱりだけでも、と、部分的に参加していただける工夫を取り入れていきます。例えば、くるみボタンに布を入れ込むときは、ゆつくりでも丁寧に、おはしやペンを使い、職員と一緒に布を入れ込みます。布を入れ込んだくるみボタンに小さな金具のフタをして、カチツと音がするまではめ込みます。型押し



しするときは、持ちやすさや力の入れやすさを考え、ココット皿にふわふわのボールをセットしたものやかなづちなど、その

方に合った道具を使い、はめ込んでいきます。これらの作業も私達は、沢山できなくても良いから作成するまでの一緒に行う工程を大切にしたい。その工程にいたるまでの道具を持って一緒に行った目の動き、身体の動き、自ら手に持って下さり興味を持って下さった心の動きに注目して商品を作っています。そして、職員の想いはそれらを多くの方に手をとってもらいたい、沢山の方に知ってもらいたいとの考えから、ゆらの1階にあります、「YURURi」にて販売させていただくこととなり、現在、少しずつではありますが、ご購入いただける様になっております。今回、興味を持っていただいた方は、ぜひ、「YURURi」にて販売していますので、宜しく願います。

このようにして、日々、グループで活動させていただいているどの場面でも、職員と利用者の皆様と一緒に身体を動かして、新しい発見をするためには、まだまだ職員がアプローチの幅を広げ、沢山の選択肢を提供できるように準備をして日々の笑顔、またやり切った満足感やほどよい疲れの表情ある活動につなげていけるよう頑張りたいと思っています。

毎日、「きらっと」光る一瞬が、

沢山ありますように！！

ゆら H.T



## みどり教室

みどり教室は、今年度2名の新しい利用者さんを迎えスタートしました。

また、新しい取り組みとして、「企画開発実行委員会」「エンジョイサークル」が活動の中に増えました。

企画開発実行委員会は、販売促進部、会計部、開発部、広報部の4つの部署があります。

販売促進部は、主に区役所、金塚マルシェ、ふれ合い喫茶等での販売活動や、「YURURI」での棚卸し等を行います。会計部は、パソコンを使用し、販売部からの売上報告を入力し、グラフを作成しています。

開発部は、野菜チップスやクッキーを作り、商品化を目指しています。広報部は施設内新聞に掲載する記事を取材し、原稿入力を行っています。

利用者の方々には、4つの部署から1つ選んでいただき、活動に参加していただいています。普段の仕事（内職、作品作り等）ではない、新しいお仕事を担うことで、利用者の方々が、楽



しみ、やりがいを感じていただければと考えています。

エンジョイサークルは普段お仕事を頑張ってくださいとっているなかで楽しみ、息抜きをしていただこうと、行っています。

毎月さまざまなサークルを提示させていただき（普段の利用者さんの声などから決めていきます）皆さんを選んでいただいています。室内ボーリング、射的、ダンス、お花見、カラオケなどが今までで人気がありました。

みどり教室では、今後も利用者さんのニーズに添いながら、充実した時間が提供できるよう取り組んでいきたいと思えます。

みどり教室 M・A

## 咲笑（さくら）

今年度3名の新しい利用者さんを迎え、視覚的に分かりやすい環境を目指しながらクッキー作りに取り組んでいます。

利用者の皆さんは手順ボードを見ながらクッキー作りを行い、クッキーの型抜きなどきめ細やかな工程も一つ一つ丁寧に完成される姿はまさに職人のようです。



い。

咲笑の利用者さんが安心して、充実した日中の時間を過ごすことを目標としながら、今後も利用者の皆さんと共に研究を重ね、「世界に一つだけの咲笑クッキー」を利用者の皆さんと一緒に作っていききたいと思います。

咲笑 Y・H



## 研修情報

ハプティックセラピーセミナー大阪

(初級～上級)

11月11日(日)

9時半～12時半

初級コース「理論と実技(背中)」

13時半～16時半

中級コース「理論による実技(手)」

11月12日(月)

9時半～12時半

上級コース「理論による実技(足)」

\*中級コース及び上級コースは初級コースの受講を前提とします。

\*講座終了後に修了証(SQCハプティックセラピーネットワーク発行)を発行

●会場 グランフロント大阪タワーC北館

8階 最寄駅 JR大阪駅、大阪メトロ・阪急・阪神梅田駅すぐ

●コース費用 1コース 2万5千円

(★SQC会員:2万円)

\*フォローアップコース:5千円↓すでに各コースを受講済で修了証をお持ちの方

●主催 スウェーデン・クオリティ・ケア(SQC)  
ハプティックセラピーネットワーク

●申込み・問合せ

社会福祉法人 大阪重症心身障害児者を支える会 支える会研修センター

TEL 06・66690・5360

FAX 06・66696・9955

MAIL study@sasaeru.or.jp

●全国重症心身障害児(者)を守る会

平成30年度近畿ブロック研修会

11月24日(土)

10時半～15時半

●メインテーマ

「重度障害児者の高齢化を見据えて

～医療と療育～」

●会場 奈良県文化会館 2階 小ホール

奈良市登大路町6の2

●参加費 資料代500円(お弁当・お茶をご希望の方は1000円)

●主催 全国重症心身障害児(者)を守る会

近畿ブロック

全国重症心身障害児(者)を守る会

●申込み・問合せ 同大阪支部・事務局

(TEL 06・6624・2555)

FAX 06・6624・2556

MAIL osaka@sasaeru.or.jp

★①件名(平成30年度近畿ブロック研修会参加申込書)、②氏名、③〒住所、④電話、⑤所属など、⑥昼食の有無、以上6項目を記入の上 FAXまたはメールにてお申込み下さい。

●重度訪問介護従業者養成研修

(土日コース・基礎追加)

12月1日(土)

9時半～17時半

2日(日)

9時半～16時15分

9日(日)

10時～17時15分

15日(土)

9時半～17時

16日(日)

12時45分～17時15分

●科目 重度訪問介護の制度とサービス、基礎的な介護技術に関する講義、重度訪問

介護利用者の理解、人権啓発に関する知識、車椅子の移動介助、医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障がい及び支援に関する講義、外出時の介護技術

に関する実習、他

●会場 ゆらつとステーション

大阪市住吉区万代東1丁目3番19号

●定員 20名

●参加費 1万5千円

●主催 支える会研修センター

●申込み・問合せ 同事務局

TEL 06・6690・5360

FAX 06・6696・9955

TEL 06・6690・5360

FAX 06・6696・9955



# イベント・催し



## 年金等の相談会のご案内

昨年7月より毎月開催しております年金等の相談会について、社会保険労務士事務所アヴァロンの伊藤先生にご協力をいただき開催しております。一人ひとりのケースに応じたアドバイスを個別に分かり易くご説明いただき、利用される方も増えていきます。助成金活用や労働環境整備、障害年金などのご講演もされておられ、年金に関すること以外でも受け付けております。どうぞお気軽にご相談ください。

- 日時 平成30年11月7日(水)、12月12日(水) いずれも10時半～12時
- 場所 ゆらっとステーション1階面談室  
大阪市住吉区万代東1の3の19
- 費用 無料
- 申込み・問合せ 社会福祉法人 大阪重症心身障害児者を支える会事務局  
TEL 06・6690・5360

## みどり教室 秋の作品展&模擬店

かご製品、陶芸作品、リング編み、和紙製品、野菜チップス、クッキーなどの作品展やバザー、やきそば、からあげ、カレーライス

秋鮭の混ぜご飯、かぼちゃプリンなどの模擬店を準備して、皆様のご参加をお待ちしています。★ゲームやお菓子のつかみどりもお楽しみいただけます。(ただし、お菓子がなくなり次第終了となります)  
◎阿倍野区つながりフェスタに合わせたの合同開催です。

- 日時 10月27日(土) 10時～14時

小雨決行

- 場所 みどり教室

大阪市阿倍野区阪南町2丁目23の11

TEL 06・6622・3759



## イヴ×10 クリスマス・コンサート vol.16

このコンサートは、阿倍野区からバリアフリーの輪を広め、自分のアイデンティティを表現・発信する場として毎年行われています。10余りの団体が参画し、みどり教室は手話歌と表現ダンスを披露します。練習の成果を皆さまにご覧いただけますと幸いです。

- 日時 12月15日(土) 13時～16時  
(12時半開場)



2016.1.2

- 場所 阿倍野区民センター大ホール

大阪市阿倍野区阿倍野筋4の19の118

- 費用 入場無料

- 主催 阿倍野区作業所連絡会

- 問合せ 阿倍野ひまわり作業所

TEL 06・6714・2492

阿倍野区役所 保健福祉課(福祉)

TEL 06・6622・9857

## 支える会\*クリスマス会

- 日時 12月22日(土) 12時～15時

- 場所 早川福祉会館 4階ホール

大阪市東住吉区南田辺1の9の28

着替えなど横になることができるお部屋もあります。

- 内容 お食事・ゲーム・ミニコンサート・クラシックバレエなど、他にもお楽しみがいっぱいあります。

(大阪ゆとりライオンズクラブの方々、ドゥミ・プリエの方々、他)

- 参加費 支える会会員及び家族及び介護者  
：一人500円

非会員の方 …一人1000円

- 定員 23組 ●締切 12月14日(金)

- 主催 大阪府重症心身障害児・者を支える会

- 申込み・問合せ 事務局

(TEL 06・6624・2555)

FAX 06・6624・2556



## 冊子の紹介



「重症心身障がい児・者の方々への介護入門  
〜鏡の向こう側にいるあなたと〜」

著者

岸本 眞 宝塚医療大学教授、理学療法士

相談支援専門員、修士（学術）

小原英輔 NPO法人大阪府重症心身障害

児者を支える会 わい×2施設長、介護

福祉士、生活介護事業所管理者、修士

（学術）

「何かちよつと違うぞ!」と思える冊子  
です。副題「鏡の向こう側にいるあなた」の  
深〜い意味を知りたくありませんか?

この冊子を読み終えた時には、心も体も丸ごと  
と受け止める介助がしたくなるかもしれませ  
ん。

★重症心身障害介護講習会サポートチームア

クトハウス編

★発行・問合せ 社会福祉法人 大阪重症心身  
障害児者を支える会

★定価 500円（税込み）

## ほつとひと息

ある日の生活ホームのでき事。

女性Aさんは、日頃から周りの方々への心配  
りをほのぼのとされていて、物音や咳・くしゃ  
みを耳にされるとすぐに「大丈夫?」とやさ  
しく声をかけてくださいます。Aさんの手はふ  
わふわで触れるとほっこりした気持ちになりま  
す。

ある朝、いつものように共有スペースで皆さ  
ん朝食を済ませられ、Aさんが座っておられま  
した。Aさんは日常あまり交流のない若い女  
性Bさんがヘルパーさんに促され、何げなくA  
さんのやわらかい手に触れました。AさんはB  
さんの手をふわっと包まれました。

その後、いつもならば若いBさんは身支度を  
整えた後、自室に戻られるのですが、その日は  
またAさんの横に來られて手を伸ばされ、ふわ  
ふわの手に触れておられました。

ふわふわの手を通じて、何かがBさんに伝わ  
ったのかも知れないですね。

## ●編集後記

次第に秋の気配も深まり、ちらほらと紅葉  
を目にする季節となりました。久しぶりの  
「あんでな」はいかがでしたでしょうか?  
今号では実践発表会の感想をお伝えしまし  
た。年に1〜2回実施されますこの発表会で  
は、より深い考察を目指して取り組まれてい  
ますが、その大切さを感じています。

さて生活ホーム クローバーでは、今年も  
秋の旅行が行われています。3企画の中から  
ご希望のコースを選んでいただき、3グルー  
プがそれぞれの日程で行かれます。「〇〇が  
美味しかった!」「〇〇のお祭りが楽しかつ  
た!」などの声が聞こえてきています。その  
ご様子をまた後号でお伝えさせていただきます  
予定です。どうぞ、お楽しみに!

発行元

社会福祉法人 大阪重症心身障害児者を支える会

〒545-0021

大阪市阿倍野区阪南町2丁目23番11号

TEL 06-66690-5360

FAX 06-66696-9955